

熱田神宮と七里の渡し・堀川プロムナードコース

みんなで歩こう！なごやかウォークガイドブック（＊）に紹介されている「宮の渡し・堀川プロムナードコース」をもとに、断夫山古墳、宮宿と七里の渡し（旧東海道）、熱田神宮等の史跡等を訪ねるコースです。水辺の景色と緑の杜を歩くさわやかなコースで、道もほぼ平坦です。6.5km 程度。

1、開催月日 2015 年 12 月 12 日（土） 13：30～16：10

2、踏査コース・スケジュール

地下鉄神宮西駅 ⇒ 白鳥古墳（白鳥御陵）⇒ 熱田神宮公園内 断夫山古墳 ⇒ 名古屋国際会議場・白鳥公園 ⇒ 白鳥庭園（300 円、20 分程度）⇒ 白鳥・千年プロムナード ⇒ 七里の渡し・宮の渡し公園 ⇒ 熱田神宮（上知我麻神社、八剣宮（別宮）、南新宮社、大楠、信長塀、本殿（本宮）、清水社）⇒ 地下鉄神宮西駅（16：15 頃）

3、主な見どころ＊ ＊

白鳥古墳： 古墳時代後期の前方後円墳。日本武尊（やまとたけるのみこと）が亡くなった後、白鳥となり舞い降りた地と伝えられる故事から、日本武尊の陵墓とされている。一方、現在は尾張の豪族のお墓といわれる。全長 74m とされているが、道路建設・台風などで一部元元の形を留めていない。墳丘 5m ほどの平坦面があったことから 2 段築造であったと推測される。入口に本居宣長のヤマトタケルノミコトを詠んだ歌碑がある。

断夫山古墳： 東海地方最大の前方後円墳。6 世紀初頭の築造で全長 151m。前方部（高さ 16.2m）と後円部（高さ 13m）。尾張氏の墓と考えられ、国の指定史跡で貴重な自然林の緑に覆われている。断夫山古墳の呼び名について → ヤマトタケルノミコトの死後、ミヤスヒメノミコトが再婚しなかったことから、夫を断つ山・断夫山と名付けられたとの説があります。

名古屋国際会議場： 1989 年（平成元年）に市制 100 周年記念で開催された世界デザイン博覧会のテーマ館をベースに整備し、1990 年（平成 2 年）に国際コンベンション都市名古屋の中核施設として設置。飛び立つ白鳥のデザインモチーフに設計。3012 名収容のセンチュリーホールほか、イベントホール、白鳥ホール、会議室、レストラン等を備えている。

幻のスフォルツァ騎馬像： 国際会議場の中庭に立つ巨大な騎馬像は、世界デザイン博覧会に出展されたもの（高さ 8.3m、全長 8.8m）。この騎馬像はレオナルド・ダビンチが世界最大のフランチェスコ・スフォルツァ将軍の騎馬像の制作を命ぜられ、ブロンズで作り上げようとしたが、戦争のため断念。しかし、世界デザイン博覧会出展に際して再建させるため残された手稿やデッサンなどを参考に原形を粘土で創作し、拡大したものを強化プラスチック（FRP）で仕上げられた。これは日本の研究と技術がもたらした世界で唯一のもの。

白鳥庭園（有料）： 白鳥庭園は面積 3.7ha の池泉回遊式庭園。庭園南西の築山は、御嶽山を、そこを源流とする時計周りの水の流れは木曾川をモチーフとしている。庭園中央部には、茶室「清雨亭」が配置されている。日本庭園の伝統的な意匠を現代の感性と技術で演出している。 入場料：300 円

白鳥公園・堀川プロムナード： 1989 年（平成元年）、堀川沿いの貯木場が埋め立てられ、世界デザイン博覧会場や白鳥庭園、そして川沿いのプロムナードが整備され、今では都会の中の水辺のオアシスになっている。歴史散策、ウォーキングやジョギングなどを通して市民に親しまれている。

七里の渡し（宮の渡し公園）： 桑名宿へ東海道唯一海上七里を船で渡るコースの船着場。当時この辺りまで旅籠が多く、渡し船も多数用意された。現在当時の常夜灯や時の鐘が復元されている。

旧東海道道標： 江戸時代、お伊勢まいりが流行した。江戸から 360km の宮の宿（熱田）は、東海道最大規模を誇り、熱田さんの参拝と七里の渡し船を待つ人で大いに賑わう。宿の中心あたりに 2 本の道標があった。道標は 1790 年（寛政 2 年）のもの。

熱田神宮

本殿： 熱田神宮の境内は約 19ha（ナゴヤドーム約 4 個分）、場外を併せると約 28.2ha の面積があり、この境内の北方に本殿が鎮座する。本殿は 1929 年（昭和 4 年）の「伊勢神宮、第 58 回式年遷宮」の折造営された内宮の社殿で、1953 年（昭和 28 年）の第 59 回式年遷宮後に熱田神宮に譲渡された。1955 年（昭和 30 年）10 月に再建され、歴史的にも他に例がないほど極めて貴重なもので、かけがいのない文化財である。三種の神器の一つである草薙の剣を祀るお宮で、2013 年（平成 25 年）に創祀 1900 年の慶節を迎えるのを控え 2009 年（平成 21 年）に修造された。

信長塀： 本殿前の第 3 鳥居の手前にある 400 年来の風雪に耐えている白い土塀がある。この土塀は京都の三十三間堂の太閤塀、西宮神社の大練塀と並んで日本の三大塀の一つに数えられている。桶狭間の戦いで今川義元を討ち、この戦いにより信長天下取りとなった武勲に対し、織田信長が奉納したと伝えられている。

大楠： 弘法大師がお手植えをしたと伝えられ、樹齢 1000 年以上。名古屋市指定木。正参道沿いにあり幹の太さと見事な枝ぶりなど、多くの参拝者に親しまれている。

南新宮社： 熱田神宮の中で唯一の丹（朱色）塗りの社殿で、祭神は「すさのおのみこと」で別名「牛頭天王」（ごずてんのう）、疫病よけの天王信仰の対象。

* 「みんなで歩こう！なごやかウォークガイドブック」

⇒ 名古屋市教育委員会生涯学習部スポーツ振興課 発行 330 円

名古屋市内のウォーキングコース 50 が紹介されている。

** 主なみどころ は「熱田ぐるりマップ」発行：熱田区まちづくり協議会 堀川にぎわいづくり専門委員会、事務局：熱田区役所まちづくり推進室 によりました。